

実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科	担当教員名	授業科目名	履修 学年	単位数	実務経験のある教員による授業内容
キャリア育成学科	鷲尾 敦	ビジネスシステム演習	2	1	システムエンジニアとして、システム設計、システム構築に関わってきた教員が、経験を踏まえ、業務を把握し表現する方法や、データベースを核とするシステムの設計、構築する内容の指導を行う。
		データベース I	1	2	システムエンジニアとして、システム設計、システム構築に関わってきた教員が、データベース構築の経験を踏まえ、リレーショナルデータベースの基礎概念とACCESSを使ったデータベースの基礎について指導を行う。
		データベース II	2	1	システムエンジニアとして、システム設計、システム構築に関わってきた教員が、リレーショナルデータベースの基礎概念と、MicorsoftのデータベースソフトウェアであるACCESSを使ってデータベースを構築できるような、テーブル、クエリ、フォーム、レポートの作成方法やリレーションシップの概念を学び、実践します。
	中畑 裕之	ビジネス実務論	2	2	銀行、その関連会社総合研究所にてその関連会者にて36年間ビジネス実務に携わり、企業の経営指導、コンサルティング、職場改善、販路開拓などを業務として行ってきた。その経験をいかし、本授業ではビジネスの現場で起きている環境変化を理解し、ビジネスの現場で求められている実務や知識が身に付くよう、経験してきた事例なども題材にしなが、ビジネスの現場に出たときに役立つ授業を行う。
		社会学	2	2	銀行系のシンクタンク総合研究所にて26年間経済産業動向の調査や地域の計画づくり、企業の経営指導、コンサルティング、職場改善、販路開拓などを業務として行ってきた。現代社会や地域の課題を多く扱ってきた。その経験をいかし、本授業では社会問題を理解し、問題点を整理し、自らの意見提案などの表現が出来るようになること。社会問題の背景や関連性を学び、関心を持つことを目標にしている。社会の課題について基本的な情報提供を行った後、学生はグループディスカッションなどを行い、結果を発表するなどの授業を行う。
		マーケティング論	2	2	銀行系のシンクタンク総合研究所にて26年間経済産業動向の調査や地域の計画づくり、企業の経営指導、コンサルティング、販路開拓、職場改善などを業務として行ってきた。その経験をいかし、その中で地域産品の商品開発や販路開拓支援、地域企業の海外販路開拓支援なども行った。その経験をいかし、本授業ではビジネス実務に必要なマーケティングの考え方や基本概念、用語・知識を身につけるとともに、なぜという疑問、問題を発見する力をつけることを目標にしている。身近にある企業やその商品、地域の取り組みなどを事例として扱いながら講義形式で行っている。その中で経験した地元産品の事例や海外販路開拓の事例なども扱う授業を行う。

学科	担当教員名	授業科目名	履修 学年	単位数	実務経験のある教員による授業内容
キャリア育成学科	日下 清佳	キャリアデザイン I	1	1	国際線客室乗務員として20年の実務経験のある教員が、キャリアデザインの意味・目的を理解し、短期、中期、長期的なキャリアを描き、実現に向けて取り組む姿勢を身につけるための授業を行う。
		キャリアガイダンス I	1	1	国際線客室乗務員として20年の実務経験のある教員が、短期的なキャリアに焦点を置き、主体的にキャリアを描き実現できるようになることを目指し授業を行う。
		ビジネスマナー I	1	1	国際線客室乗務員として20年の実務経験のある教員が、オフィスで働くための基礎知識・対人関係を円滑にするビジネスマナーを身につけるため授業を行う。
		ビジネスマナー II	1	1	国際線客室乗務員として20年の実務経験のある教員が、オフィスで働く際に必要となるビジネススキルの習得とサービス接客検定2級の取得を目指し授業を行う。
		ビジネス実務演習	2	2	国際線客室乗務員として20年の実務経験のある教員が、オフィスで求められる「仕事の基本」を理解し、オフィスワークの「実務スキル」を身につけるため授業を行う。
	服部 優子	介護福祉演習 I	2	2	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、介護福祉養成課程の総まとめとして、「人間と社会」及び「こころとからだのしくみ」について授業を行う。
		介護実習総合演習 III	2	1	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、実習に向け必要な知識・技術の復習、介護実践を的確に行えるための指導を行う。
		介護過程 V	2	1	看護師、介護福祉士としての実務経験のある教員が、学生の実習における受け持ち利用者の介護計画の総合指導を行う。
		基礎生活支援技術 II	1	1	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、提供した支援内容と教科書の指導内容をもとに介護技術(実技)の復習を行う。
		基礎生活支援技術 IV	1	1	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、自立と尊厳を意識した基本的な介護技術(環境整備・排泄)の習得人生の終末期とそのケアについて指導を行う。
		総合生活支援技術	2	1	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、提供した支援内容と教科書の指導内容をもとに介護技術(実技)の復習を行う。
		生活文化	2	2	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、日本の文化や地域の生活に根付いた衣食住の習慣について講義し、利用者との共通話題を増やせるよう、視野を広げることを目的に授業を行う。
		くらしとレクリエーション	1	2	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設にて介護福祉士としての実務経験のある教員が、提供したレクリエーションをもとに生活文化に根差したレクリエーションの紹介、指導を行う。

学科	担当教員名	授業科目名	履修 学年	単位数	実務経験のある教員による授業内容
キャリア育成学科	中川 千代	介護実習総合演習Ⅱ	1	1	介護老人福祉施設での高齢者介護の業務や介護支援専門員としての実務経験を活かし、介護実習Ⅱでの実践が円滑に行え学びが深められるよう、意義・目的を理解し施設を利用する対象者の生活を理解し学べるよう授業を行う。
		介護過程Ⅱ	1	1	介護老人福祉施設での高齢者介護の業務や介護支援専門員としての実務経験を活かし、介護過程展開の各段階を理解し、実践に生かせる個別援助計画を立案するための基礎を学ぶ。
		レクリエーション理論	1	2	介護老人福祉施設での高齢者介護の業務や介護支援専門員としての実務経験を活かし、レクリエーション・インストラクターに必要な技術の習得、介護施設で役に立つレクリエーションの知識・技術の指導を行う。
		基礎生活支援技術Ⅰ	1	1	介護老人福祉施設での高齢者介護の実務経験や各都道府県に1か所ずつ設置された介護実習・普及センターでの一般県民向けの介護講座・介護相談等の実務経験を活かし、利用者の生活上の課題を見極める視点を養う。自立に向けた環境整備、入浴、装い、車いす操作のための知識と基本的技術を演習する。
		介護概論	1	2	介護福祉士の社会的役割、利用者本位の介護サービスの提供に必要な理念、理論、知識を理解するため、介護老人福祉施設での実務経験や各都道府県に1か所ずつ設置された介護実習・普及センターでの実務経験を活かし「生活者の視点」を重視した授業展開を行う。
		コミュニケーション技術Ⅰ	1	1	介護老人福祉施設での実務経験や各都道府県に1か所ずつ設置された介護実習・普及センターでの一般県民向けの介護講座・介護相談等実務経験を活かし、コミュニケーションの果たす役割を理解した上で、生活機能の低下した利用者やその家族への関わり方、また、多職種協働を実現するためのコミュニケーション等に基づき学びをつなげていけるように基本的な話の聴き方が理解できることを目指しアクティブリスニング演習を重ねる。
	中川 千代 上山 由紀子	介護実習総合演習Ⅰ	1	1	介護福祉士・看護師としての実務経験のある教員が、介護実習の意義や実習の位置づけを認識し利用者の生活について理解を深め、基本的な介護技術を確認しながら実習に臨む準備・指導を行う。
	上山 由紀子	医療的ケアⅡ	2	2	看護師の実務経験の有る教員が、医療的ケアにおける講義、演習を行う。
	上山 由紀子 松枝 桂子	医療的ケア演習	2	2	看護師の実務経験の有る教員が、喀痰吸引、経管栄養の実施ができるようになるための基礎知識と基礎技術の講義、演習を行う。
	松枝 桂子	介護過程Ⅰ	1	1	介護支援専門員・看護師として実務経験のある教員が、介護過程の各項目の視点を理解できるように、学生の生活の中から考えられるようになるよう、確認しながら行う。
		介護過程Ⅳ	2	1	介護支援専門員・看護師として実務経験のある教員が、介護過程の考え方を事例を通して、理解できるように行う。
		基礎生活支援技術Ⅲ	1	1	看護師として実務経験のある教員が、自立支援を行いながら、介護を行う方法をテキストだけでなく、経験を織り交ぜながら実習を行う。
	松枝 桂子	認知症の理解Ⅱ	2	2	介護支援専門員・看護師として実務経験のある教員が、認知症の人の生活、介護、認知症高齢者家族への理解について授業を行う。また、認知症に関する制度についても講義する。
福田 洋子		心と身体のしくみⅢ	1	2	看護師、介護福祉士としての実務経験の有る教員が、心と身体に関する基本と病気のケアについての授業を行う。

学科	担当教員名	授業科目名	履修学年	単位数	実務経験のある教員による授業内容
キャリア育成学科	朝日 幸代	経済学	1	2	新聞社で経済データ・情報を扱い分析した業務経験のある教員が、経済学の考え方や理論について、身近な社会の事象や経済問題を経済データやメディア情報を用いて解説する。
	前川 千秋	医療事務Ⅰ	2	4	医療事務教育機関より15年間医療機関にて診療報酬請求業務の実務経験のある教員を派遣していただき、医療事務の理解を深められるよう講義に加え演習を繰り返す。また、多数の事例を取り入れ実務に近い内容の講義を行う。
	小西 琴絵	経営管理論	2	2	組織を運営したり組織で働く上での課題について理論・事例・時事問題から理解を深めるため、映画やドキュメンタリー番組を用いつつ、講師の証券会社での実務経験をもとに、実際の企業における例を学ぶ。
		経営学	1	2	企業活動に必要な不可欠な経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)のそれぞれの役割を理解するため、講師の証券会社での実務経験をもとに、実社会においてそれらがどのように活用されているかを学ぶ。
	若林 正清	労働法	2	2	長年、社労士法人の代表を務める実務経験を活かして、企業の総務・人事部門が取り扱っている労働法・人事労務・社会保険等について、実務に即して授業を行う。
	倉田 町子	応用生活支援技術Ⅲ	2	1	保健師、看護師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカーとしての実務経験がある教員が、利用者の状態・状況に応じた生活支援を行うための知識と生活への支援の方法介護技術について授業を行う。
		コミュニケーション技術Ⅱ	1	1	保健師、看護師、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカーとしての実務経験がある教員が、コミュニケーションの果たす役割を理解した上で、利用者やその家族への関わり方、多職種協働を実現するためのコミュニケーション等に基づいて学びをつなげていけるよう演習を行う。
	伊藤 利美	医療的ケアⅠ	1	2	看護師としての実務経験を活かし、介護福祉士として最低限必要な医行為についての基礎知識等、次のⅡへの授業につながるよう授業を行う。
		心と身体のしくみⅡ	1	2	看護師としての実務経験を活かし、人体の構造・心身機能の学びと共に、その根拠をもって利用者の安心・安全かつ・尊厳ある生活支援ができるよう授業を行う。
		介護管理	2	2	看護師としての実務経験を活かし、介護福祉士として最低限必要な利用者の健康管理や介護者の健康管理についての詳細な授業を行う。
	蒔田 勝義	社会保障	2	2	社会福祉士として、現場での社会保障・社会保険に関する実務経験を活かし、介護福祉士として必要な知識・技術の講義をする。
		地域福祉	2	2	市・県社協での実務経験からの実践的な地域福祉を基礎とした知識・技術の講義をする。
		応用生活支援技術Ⅱ	1	1	手話通訳士として、市町での手話奉仕員養成講座等での講師実務経験を活かし、介護福祉士として必要な手話の知識・技術を教授する。
	山口 明日香	人間関係Ⅰ	1	2	臨床心理士、公認心理士としての実務経験を持つ教員が、人間関係の形成やコミュニケーションの基礎についての心理学やカウンセリングの理論など、様々な視点からの関わりを理解し実践できるよう技術を指導する。
人間発達理解Ⅰ		1	2	総合病院にて13年以上現在まで心理療法士としての実務経験を持つ教員が、人間発達の基礎知識と発達課題の乳児期から老年期の生涯発達を通じた理解、老年期を中心に心理医学的側面からの理解について、客観的見方と受容姿勢を指導する。	

学科	担当教員名	授業科目名	履修 学年	単位数	実務経験のある教員による授業内容
キャリア育成学科	砂山 祥吾	ファイナンシャル・プランニング	2	2	地方銀行ならびに同銀行系シンクタンクに勤務し経験から、職業人として期待される基本的な知識、地域社会の発展に積極的に貢献できる能力を身につけるための授業を行う。
	細井 薫	工業簿記演習	1	1	会計事務所等での経理事務実務経験を持つ教員が、工業簿記の基本原理を、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算、個別原価計算といった原価計算などを授業し、財務諸表を作成する。
	村尾 悠	応用生活支援技術 I	1	1	看護師として実務経験のある教員が、運動機能障害・脳機能障害の特徴。その介護方法を実習で理解を深める。
	北村 香織	障害者のくらし	2	2	障害者更生施設(障害者支援施設)で生活相談員の実務経験のある教員が、障害に関する基礎知識、サービス体系、また支援方法について講義する。
単位数計				82	